

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月3日 (2016.3.3)

【公開番号】特開2014-39722(P2014-39722A)

【公開日】平成26年3月6日 (2014.3.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-012

【出願番号】特願2012-184172(P2012-184172)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月14日 (2016.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、  
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

入賞の発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

第 1 状態と当該第 1 状態とは有利度が異なる第 2 状態とを含む複数の状態のうちいずれかに制御する制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果および前記導出操作手段の操作に応じて表示結果を導出させる制御を行なう導出制御手段と、

特定表示結果が導出されたときに特典を付与することが可能である付与手段と、

前記事前決定手段の決定結果に応じて、情報を報知する報知手段とを備え、

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の第 1 特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、当該第 1 特定結果の種類に応じた特定操作手順で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果を導出し、当該特定操作手順以外の操作手順で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果以外の表示結果を導出し、

前記事前決定手段の決定結果が第 2 特定結果となったときにおいて、前記導出操作手段の操作手順に関わらず前記特定表示結果を導出し、

前記報知手段は、

前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の第 1 特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、前記情報として、当該第 1 特定結果の種類に応じた特定操作手順を報知するときがあり、

前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の第 1 特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、制御されている状態が前記第 1 状態であるときよりも前記第 2 状態であるときの方が高い割合で前記特定操作手順を報知し、

前記事前決定手段の決定結果が前記第 2 特定結果となったときにおいて、制御されている状態が前記第 1 状態であるときよりも前記第 2 状態であるときの方が高い割合で、前記

複数種類の第1特定結果に応じた特定操作手順のうちいずれかを報知する、スロットマシン。

【請求項2】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

入賞の発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

第1状態と当該第1状態とは有利度が異なる第2状態とを含む複数の状態のうちいずれかに制御する制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果および前記導出操作手段の操作に応じて表示結果を導出させる制御を行なう導出制御手段と、

特定表示結果が導出されたときに特典を付与することが可能である付与手段と、

前記事前決定手段の決定結果に応じて、情報を報知する報知手段とを備え、

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の第1特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、当該第1特定結果の種類に応じた特定操作手順で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果を導出し、当該特定操作手順以外の操作手順で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果以外の表示結果を導出し、

前記事前決定手段の決定結果が第2特定結果となったときにおいて、前記導出操作手段の操作手順に関わらず前記特定表示結果を導出し、

前記報知手段は、

前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の第1特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、当該第1特定結果の種類に関わらない情報であり、操作手順が特定不能である所定情報を報知するときがあり、

前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の第1特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、制御されている状態が前記第2状態であるときよりも前記第1状態であるときの方が高い割合で前記所定情報を報知し、

前記事前決定手段の決定結果が前記第2特定結果となったときにおいて、制御されている状態が前記第2状態であるときよりも前記第1状態であるときの方が高い割合で前記所定情報を報知する、スロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンに関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

特許文献1および特許文献2に例示されている従来のスロットマシンにおいては、制御されている状態と、特定表示結果を導出させるために特定操作手順で操作することが必要な操作手順必要役および特定表示結果を導出させるために特定操作手順で操作することが必要でない操作手順不必要役の当選時における操作手順の報知とにおける関連性が何ら考

慮されていなかったため、遊技の興趣を向上させることができないという問題が生じる虞があった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、このような問題点に着目してなされたものであり、制御されている状態と、操作手順必要役および操作手順不必要役の当選時における操作手順の報知とに関連性を持たせて、遊技に対する興趣を向上させるスロットマシンを提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(1) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン（スロットマシン1）において、

入賞の発生を許容するか否かを決定する事前決定手段（抽選処理）と、遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段（図1のストップスイッチ8L、8C、8R）と、

第1状態（低確状態）と当該第1状態とは有利度が異なる第2状態（高確状態）とを含む複数の状態のうちいずれかに制御する制御手段（図4のサブ制御部91）と、

前記事前決定手段の決定結果および前記導出操作手段の操作に応じて表示結果を導出させる制御を行なう導出制御手段（リール制御処理）と、

特定表示結果（リプ6～8のうちいずれかの入賞）が導出されたときに特典（AT状態への移行）を付与することが可能である付与手段（図14）と、

前記事前決定手段の決定結果に応じて、情報（有利ナビまたは不利ナビ）を報知する報知手段（図4の演出制御基板90、スピーカ53、54、液晶表示装置51）とを備え、前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の第1特定結果のうちいずれかとなったとき（押し順役1～6のいずれかに当選）において、当該第1特定結果の種類に応じた特定操作手順（リプ6～8のうちいずれかを入賞させるための押し順）で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果を導出し、当該特定操作手順以外の操作手順で前記導出操作手段が操作されたときには、前記特定表示結果以外の表示結果を導出し（図12の押し順役1～6当選時におけるリール制御）、

前記事前決定手段の決定結果が第2特定結果となったとき（共通役に当選）において、前記導出操作手段の操作手順に関わらず前記特定表示結果を導出し（図12の共通役当選時におけるリール制御）、

前記報知手段は、

前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の第1特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、前記情報として、当該第1特定結果の種類に応じた特定操作手順（有利ナビ）を報知するときがあり、

前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の第1特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、制御されている状態が前記第1状態であるとき（図17の10%）よりも前記第2状態であるとき（図17の20%）の方が高い割合で前記特定操作手順（図12において、例えば、第1特定結果が押し順役1当選である場合には、左中右）を報知し、

前記事前決定手段の決定結果が前記第2特定結果となったときにおいて、制御されている状態が前記第1状態であるとき（図17の0%）よりも前記第2状態であるとき（図17の20%）の方が高い割合で、前記複数種類の第1特定結果に応じた特定操作手順のうちいずれか（図12において、左中右、左右中、中左右、中右左、右左中、右中左、のうちいずれか1つ）を報知する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

このような構成によれば、事前決定手段の決定結果が複数種類の第1特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、制御されている状態が第1状態であるときよりも第2状態であるときの方が高い割合で特定操作手順が報知される。このため、第1状態であるときよりも第2状態であるときの方が高い割合で、第1特定結果となったときに特定表示結果を導出させることができ、特典が付与されることに対する期待感を遊技者に抱かせることができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、事前決定手段の決定結果が第2特定結果になったときにおいても、制御されている状態が第1状態であるときよりも第2状態であるときの方が高い割合で特定操作手順が報知される。つまり、制御されている状態と、事前決定手段の決定結果が第1特定結果あるいは第2特定結果となったときに報知する情報とに関連性を持たせることができる。このため、操作手順に関わらず特定表示結果を導出させる第2特定結果となったときであっても、第1状態であるときよりも第2状態であるときの方が高い割合で特定操作手順が報知される。その結果、第2特定結果となったときであっても、第1状態であるときよりも第2状態であるときの方が高い割合で、特定操作手順で操作したからこそ特定表示結果が導出されて特典が付与されるといった面白さを提供することができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

（2）各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、  
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン（スロットマシン1）において、

入賞の発生を許容するか否かを決定する事前決定手段（抽選処理）と、  
遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段（図1のストップスイッチ8L、8C、8R）と、

第1状態（低確状態）と当該第1状態とは有利度が異なる第2状態（高確状態）とを含む複数の状態のうちいずれかに制御する制御手段（図4のサブ制御部91）と、

前記事前決定手段の決定結果および前記導出操作手段の操作に応じて表示結果を導出させる制御を行なう導出制御手段（リール制御処理）と、

特定表示結果（リブ 6 ～ 8 のうちいずれかの入賞）が導出されたときに特典（A T 状態への移行）を付与することが可能である付与手段（図 1 4）と、

前記事前決定手段の決定結果に応じて、情報（有利ナビまたは不利ナビ）を報知する報知手段（図 4 の演出制御基板 9 0、スピーカ 5 3、5 4、液晶表示装置 5 1）とを備え、前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の第 1 特定結果のうちいずれかとなったとき（押し順役 1 ～ 6 のいずれかに当選）において、当該第 1 特定結果の種類に応じた特定操作手順（リブ 6 ～ 8 のうちいずれかを入賞させるための押し順）で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果を導出し、当該特定操作手順以外の操作手順で前記導出操作手段が操作されたときには、前記特定表示結果以外の表示結果を導出し（図 1 2 の押し順役 1 ～ 6 当選時におけるリール制御）、

前記事前決定手段の決定結果が第 2 特定結果となったとき（共通役に当選）において、前記導出操作手段の操作手順に関わらず前記特定表示結果を導出し（図 1 2 の共通役当選時におけるリール制御）、

前記報知手段は、

前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の第 1 特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、当該第 1 特定結果の種類に関わらない情報であり、操作手順が特定不能である所定情報（「???」）を報知するときがあり、

前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の第 1 特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、制御されている状態が前記第 2 状態であるとき（図 1 7 の 8 0 %）よりも前記第 1 状態であるとき（図 1 7 の 9 0 %）の方が高い割合で前記所定情報を報知し、

前記事前決定手段の決定結果が前記第 2 特定結果となったときにおいて、制御されている状態が前記第 2 状態であるとき（図 1 7 の 1 0 %）よりも前記第 1 状態であるとき（図 1 7 の 8 0 %）の方が高い割合で前記所定情報を報知する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

このような構成によれば、事前決定手段の決定結果が複数種類の第 1 特定結果のうちいずれかとなったときにおいて、制御されている状態が第 2 状態であるときよりも第 1 状態であるときの方が高い割合で所定情報が報知される。このため、第 1 特定結果のうちいずれかとなったことを把握しつつどのような操作手順で操作するかや特定操作手順を予測するなどといった面白さを提供しつつ、当該第 1 特定結果に応じた特定操作手順で操作し特定表示結果を導出させ特典が付与されることに対する期待感を遊技者に抱かせることができる。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

また、事前決定手段の決定結果が第 2 特定結果になったときにおいても、制御されている状態が第 2 状態であるときよりも第 1 状態であるときの方が高い割合で所定情報が報知される。つまり、制御されている状態と、事前決定手段の決定結果が第 1 特定結果あるいは第 2 特定結果となったときに報知する情報とに関連性を持たせることができる。このため、操作手順に関わらず特定表示結果を導出させる第 2 特定結果となったときであっても、第 2 状態であるときよりも第 1 状態であるときの方が高い割合で所定情報が報知される。その結果、第 2 特定結果となったときであっても、第 1 特定結果のうちいずれかとなっ

たときと同じようにどのような操作手順で操作するかや特定操作手順を予測するなどといった面白さを提供しつつ、操作手順に関わらず特定表示結果を導出させることにより特定操作手順で操作することができたといった満足感を遊技者に抱かせる機会を多くすることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

( 6 ) 前記事前決定手段の決定結果が前記複数種類の第 1 特定結果のいずれかとなったときにおいて前記特定表示結果が導出されたことにより付与され得る特典と、前記事前決定手段の決定結果が前記第 2 特定結果となったときにおいて前記特定表示結果が導出されたことにより付与され得る特典とは同一である(両者とも A T 状態移行およびナビストック数加算、同一の条件で A T 抽選実行)。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 8】

A T とは、サブ制御部 9 1 によって制御される演出状態であって、内部抽選結果に応じた情報(操作手順など)を報知するナビ演出を実行可能な報知期間となるアシストタイムをいう。また、ナビ演出には、操作手順(たとえば「左中右」など)を報知するナビ演出と、複数種類の入賞役のうちいずれかに当選しているときには当選している入賞役の種類に関わらない所定情報(たとえば「???」)を報知するナビ演出とを含む。